



第2号では、4~5月にかけて行われた本校のSSH事業と本校生徒の活躍の様子について紹介します。

○科学プレゼンテーション研修

4/19(土)に理数科1年生を対象に、中部大学の井上徳之教授をお招きして「科学プレゼンテーション研修」を行いました。この研修は、ロボットや情報技術、ライフサイエンスなどの最先端科学技術分野の中から興味を持った話題について、各自がChromebookでスライドを作成しながらプレゼンテーションを効果的に行うための手法を体験的に学ぶことで、コミュニケーション力やプレゼンテーション力等の「論じ合う力」を育むことを目的に実施しています。井上先生から学び得たスライドの構成やプレゼンテーションの手法を意識しながら、活発かつ積極的にプレゼンテーションに取り組む様子が多くの場面で見られました。また、昨年度、本研修を受講した理数科2年生から4名の生徒がティーチング・アシスタントとして参加し、理数科1年生にとって実りある研修となるよう、随所で効果的にサポートしてくれました。



以下は本研修受講後の理数科1年生の感想です。全体を通して、理数科1年生の成長を感じられる有意義な研修となりました。

- ・今回の研修で、プレゼンテーションをするときにはジェスチャー、ポスター、ボイス、アイコンタクトの4つの大切なことや、スライドでは6つのテーマに分けることで相手に聞き取りやすくなることがわかった。今回学んだ沢山の知識をこれからのプレゼンや実験のレポートなどの機会に活かしていきたいと思った。
- ・はじめは人前で発表するのが苦手だと思いがあつたけれど、実際に体験をしてみて4つのテクニックやスライドの構成などを知り、人前で発表することが楽しいと思うことができました。他にも失敗を恐れずに何度も経験を活かして、前回の自分より上に行けるようにしていきたいと思いました。

2学期中頃には普通科1,2年生希望者対象に同様の研修を行います。後日御案内しますので、普通科1,2年生の皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

○玉高サイエンスチーム「たまっコラボ」サイエンスボランティア(端午の節句まつり)

本校では、地域の理数教育の推進に貢献するため、小中学生や地域の方々を対象とした科学イベントや科学実験講座等に取り組んでいます。5/5(月・祝)に玉島市民交流センターで開催された「端午の節句まつり」では、本校サイエンス部(化学班)に所属する生徒16名が科学実験講座を行いました。「ふりかけでリトマス紙をつくろう!」と「ボイスチェンジャーをつくろう!」の2つの実験ブースを出展しました。どちらのブースも大盛況で、参加して下さった地域の方々と一緒に科学実験を楽しく体験をしている様子が印象的でした。以下は本校参加生徒の感想です。



- ・小さい子どもたちにも音の高低、大小について理解してもらえるように説明の仕方を工夫した。オシロスコープ(音を波に変換して表示する機器)を使ったことで、音についてより身近に感じてもらえたと思う。進行をするのは時間が足りなくても余っても良くないので難しかった。子どもたちの反応を見て、説明の順番などを変えることができた。
- ・「家でもやりたい」と実験方法を質問してくれた人もいたので、科学に興味を持ってもらえたと思う。より詳しく説明するために、今後も科学について調べていきたい。



サイエンス部では、校内外でのサイエンスボランティアをはじめ、溜川プロジェクトや海浜生物相調査などにも取り組んでいます。今後も本校サイエンス部の活躍を適宜紹介していきます。